

「ふくすいき ~福水企~」通信

平成28年12月号



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●平成28年第3回幹事会の開催〔11/7(月) 企業団運営協議会室〕

福岡地区水道企業団（以下、「企業団」という。）の構成団体（6市7町1企業団1事務組合）の水道関係の部課長を委員とする平成28年第3回幹事会が開催されました。

幹事会では、11月21日開催の用水供給事業促進対策委員会に提出する①福岡導水施設整備検討委員会における検討結果、②福岡地区水道企業団水道ビジョン2018（仮称）の素案概要等について説明が行われました。



幹事会の様子

<総務課 志藤>

●用水供給事業促進対策委員会・現地視察

〔11/21(月) 企業団3階委員会室、牛頸浄水場・水質センター〕

企業長の諮問機関である用水供給事業促進対策委員会〔委員長：ひえじま 俊和（福岡市議会議員）、^{としがず}副委員長：橋本 健（太宰府市議会議長）、企業団議会議員全員で構成〕が開催され、①福岡導水施設整備検討委員会における検討結果、②福岡地区水道企業団水道ビジョン2018（仮称）の素案概要等について、説明と質疑が行われました。

また、委員会終了後、牛頸浄水場及び水質センターの現地視察を行い、各施設の目的や概要、運営の状況について説明を受けました。

<議会・監査等担当主査 君村>



水質センターで臭気判定体験



牛頸浄水場にて

●福岡地区水道企業団議会議員（宗像地区）の退任・就任

第4区（宗像地区）から選出されていた吉田 益美 議員（宗像地区事務組合議会前議長，宗像市議会前議長）が，平成28年10月31日付で，企業団議会議員を任期満了となり，後任として推薦された梶村 公彦 議員（宗像地区事務組合議会議長，福津市議会議長）が，同年11月11日付で企業団議会議員に就任されました。

<議会・監査等担当主査 君村>



梶村 公彦 議員

●志免町水道事業50周年記念行事「水道50周年記念文化祭」

【11/6（日） 志免町役場駐車場】

（志免町上下水道課から情報提供いただきました）

志免町水道事業創設50周年を記念して，町文化祭においてミニ水道展を開催しました。

当日は，好天にも恵まれ，来場者へのプレゼント（紅茶とお茶のティバッグ等）がなくなるなど，予想を上回る多くの皆様にご来場いただきました。

水道水・海水淡水化水・ミネラルウォーターを飲み比べる利き水コーナーでは，約350人の方に参加いただき，普段から飲み慣れた志免町の水道水が「おいしい」と答えた方が最も多い結果となりました。

水鉄砲を使った射的コーナーは，順番待ちの列ができるほどお子様に大人気で，また，パネルコーナーでは，「水道水ができるまで」，「海の水を水道水に!？」などを展示し，利き水などとあわせて，住民の皆様には水道事業のPRができました。

ご来場の皆様をはじめ，当ブース出展に際し，ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

問い合わせ先 志免町上下水道課

TEL 092-935-1079 FAX 092-935-2423

E-mail suido@town.shime.lg.jp



大盛況の利き水コーナー



やった！当たった!!



パネルを見る来場者

●日本水道協会全国会議「水道研究発表会」(第 89 回総会)【参加してきました】

〔11/9 (水) ~11 (金) 京都市〕

11月9日(水)から3日間にわたり、日本水道協会全国会議が京都市の「ロームシアター京都」ほか2会場で開催されました。

全国から多くの水道関係者が集結して、水道が抱える課題解決に向けた議論を展開するとともに、活発な情報交換が行われ、当企業からは諫山企業長ほか職員5名が参加しました。

総会では、水道事業に功績があった方々や長年水道事業に携わった方々への表彰があり、福岡都市圏からも多くの方が受賞されました。

総会の議案審議では、水道が抱える課題解決に向けて国への要望事項が22題提出されました。その中で、海水淡水化センターの運用の柔軟性、生産コストの削減につながる「ホウ素及びその化合物の水質基準値について、WHOガイドライン値の改定に合わせた見直しを行う」件についても要望することが採択されました。

研究発表会では、事務、計画、水源・取水、浄水、導・送・配水、給水装置、機械・電気・計装、水質、リスク管理、災害対策、英語の全11部門で450編の発表があり、日々の業務や研究の成果など産官学による最新の知見が披露されました。

当企業から、水質センター下田係員が「高塩基度 PAC 実証試験結果」を、施設課渡邊係員が「空気弁部(人孔ふた)からの漏水発生による不断水補修工法」をそれぞれ発表しました。

また、特別講演では、『大規模地震等災害へ備えるために一強靱と連携一』をテーマに、東日本大震災や熊本地震等の大規模災害を受けて、災害に強い施設づくりや緊急時の体制づくりの重要性を改めて認識しました。

各企業の最新技術紹介ブースでは、多くの新技術に触れることができ、今後、水道事業に関わる中で、新技術の採用も検討していきたいと感じました。

<海水淡水化センター 川井>



開催地の門川大作 京都市長のあいさつ



発表する下田係員(上)と渡邊係員(下)

●西日本都市監査事務研修会〔11/10(木) 愛媛県松山市〕

第64回西日本都市監査事務研修会が開催され、企業団^{うちこし}打越^{もとやす}基安代表監査委員(福岡市議会議員)及び監査事務局職員が参加しました。

総務省監査制度専門官からの第31次地方制度調査会における答申等についての講義に続き、岡山県瀬戸内市など6市から提案された監査委員事務局の共同設置化の動向等など6件の研究課題に対して、総務省行政課からの解説がありました。

また、松山市立子規記念博物館館長から、「子規と漱石 in 松山—新しい文学の夜明け—」について講演が行われました。

<議会・監査等担当主査 君村>

●福岡地区水道企業団安全管理講習会【開催しました】

〔11/15（火） 企業団3階大会議室〕

企業団及び構成団体の職員を対象に「水道工事の安全対策及び事故防止」に関する知識の習得を目的とした安全管理講習会を開催し、10団体から32名の方に参加いただきました。

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会等の技術員の方々を講師に迎えて、水道工事（開削・推進・シールド工法）の事故事例及び施工時の留意点等についての講義や今年4月に起きた熊本地震での鉄箱（バルブボックス）の被害状況の報告を行っていただきました。

受講者からは「過去の事故事例や施工時の留意点を学ぶことができ、今後の業務に役立てていきたい」等の感想がありました。



安全管理講習会の様子

<施設課 関>

●筑後川水道三企業団協議会調査研究事業（先進地視察）

〔11/17（木）・18（金） 北千葉広域水道企業団〕

筑後川水道三企業団協議会（福岡県南広域水道企業団、佐賀東部水道企業団、当企業団で組織）の事務部会における調査・研究事業の一環として、各企業団の職員計3名が、千葉県及び県内7市に用水供給を行う北千葉広域水道企業団を視察しました。

北千葉広域水道企業団では、平成31年度完成予定のハツ場ダム及び平成34年度完成予定の思川おもいがわの水源開発による事業拡大を控えています。また、昭和54年から構成団体への給水を開始し、多くの管路が法定耐用年数を経過するなど、老朽化している状況にあります。



北千葉広域水道企業団経営管理室職員（左側）から経営戦略についての説明

このような状況で、優先すべき主要事業を取捨選択した「事業投資計画」、より精密化したアセットマネジメントに基づく「施設・管路更新計画」、給水料金の安定維持を図るための「財政収支計画」、事業実施に必要な「職員計画」の4つの計画を統合した「経営戦略」（計画期間：平成28年度から平成37年度までの10年間）を平成27年11月に策定されました。

また、北千葉浄水場では、平成26年度から稼働開始した高度浄水処理施設について、オゾンにより分解した有機物が生物活性炭層を通して吸着分解されることで、より安全でおいしい水ができるとの説明がありました。

なお、高度浄水処理施設の稼働に伴い、これまでの浄水処理費用に加え、設置費用及び維持管理費用が必要となりますが、将来を見据えた経営戦略があつてこそ、事業投資が可能であることを実感しました。

視察した内容については、12月16日（金）に久留米市で行われる筑後川水道三企業団協議会の事業報告会において、佐賀東部水道企業団職員が代表して報告いたします。 <財務課 原>

●福岡導水施設合同危機管理訓練【参加してきました】

〔11/24（木） 福岡導水管理室（久留米市）ほか〕

福岡導水施設における事故等への対応を円滑に行うことを目的に、独立行政法人水資源機構の主催により、佐賀東部水道業団、当企業団との合同危機管理訓練が実施され、当企業団から職員 10 名が参加しました。

今回は、水資源機構の危機管理対策についての紹介があり、福岡導水からの送水が停止した場合を想定した基山分水工地点（佐賀県基山町）での送水切替操作や山口調整池（筑紫野市）からの代替送水操作などについて、水資源機構の職員から説明を受けました。

＜総務課 志藤＞

●第 11 回福岡地区水道企業団職員研究発表会【開催しました】

〔11/25（金） 水質センター 1 階会議室〕

当企業団では、職員の資質向上を図るとともに、職員の自己啓発及び研究意欲の奮起を図ることを目的として、職員による研究発表会を隔年で開催しています。

今年度は、日頃の業務の改善や工夫等の結果について、次の 8 項目の発表があり、活発な質疑応答が行われました。

これらの研究成果については、今後の業務に活かしていきたいと考えています。



研究発表会の様子

＜牛頸浄水場 船越＞

○発表テーマ及び発表者

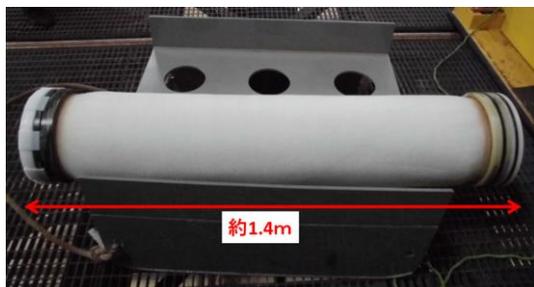
1	海水淡水化センターの維持管理費低減に関する取り組み	森 雅英（海水淡水化センター）
2	高塩基度 P A C 実証試験結果	下田 佳裕（水質センター）
3	福岡導水の全量取水に伴う水運用と今後の課題について	溝田 誠次（計画課） 金栗 弘道（牛頸浄水場）
4	海淡センターの効率的運用 ～少水量運転に向けての取り組み～	吉村 義晴（海水淡水化センター）
5	空気弁部（人孔ふた）からの漏水発生による補修工法	寺嶋 健人（施設課）
6	異物特定で信頼性アップへ	松本 正剛（水質センター）
7	ろ過池遮光ネット設置事業について	近藤 洋平（牛頸浄水場）
8	世界の海水淡水化施設について	宮島 隆（海水淡水化センター）

● **高圧 RO 膜の定期交換を実施しました** 【10/24（月）～11/25（金） 海水淡水化センター】

海水淡水化センターでは、安全で良質な水道用水を安定して供給するため、毎年、海水淡水化の要である高圧 RO 膜（海水から塩分を取り除き真水にする膜）の全体の 15%にあたる 300 本を定期交換しており、10 月下旬から約 1 カ月をかけて実施しました。

なお、取り外した膜は資源の有効利用を図るため、公募により有償での譲渡を行っております。

＜海水淡水化センター 森＞



新品の高圧 RO 膜（上）

高圧 RO 膜交換作業の様子（右）



● **筑後川水道三企業団協議会事務部会研修**

【11/30（水） 荒木浄水場（久留米市）、小石原川ダム（朝倉市）】

筑後川水道三企業団協議会（福岡県南広域水道企業団、佐賀東部水道企業団、当企業団で組織）の事務部会において、視察研修を行いました。

福岡県南広域水道業団が管理する荒木浄水場（久留米市）にて担当職員から施設概要について説明を受けた後、場所を移動し、小石原川ダム建設地（朝倉市）を視察、独立行政法人水資源機構朝倉総合事業所の担当職員からダムの事業概要や工事の進捗状況などについて説明を受けました。

＜総務課 志藤＞



荒木浄水場の見学



荒木浄水場（久留米市）



小石原川ダム建設現場視察



建設中の小石原川ダム（朝倉市）

お知らせ

●五ヶ山ダムで試験湛水が開始されました

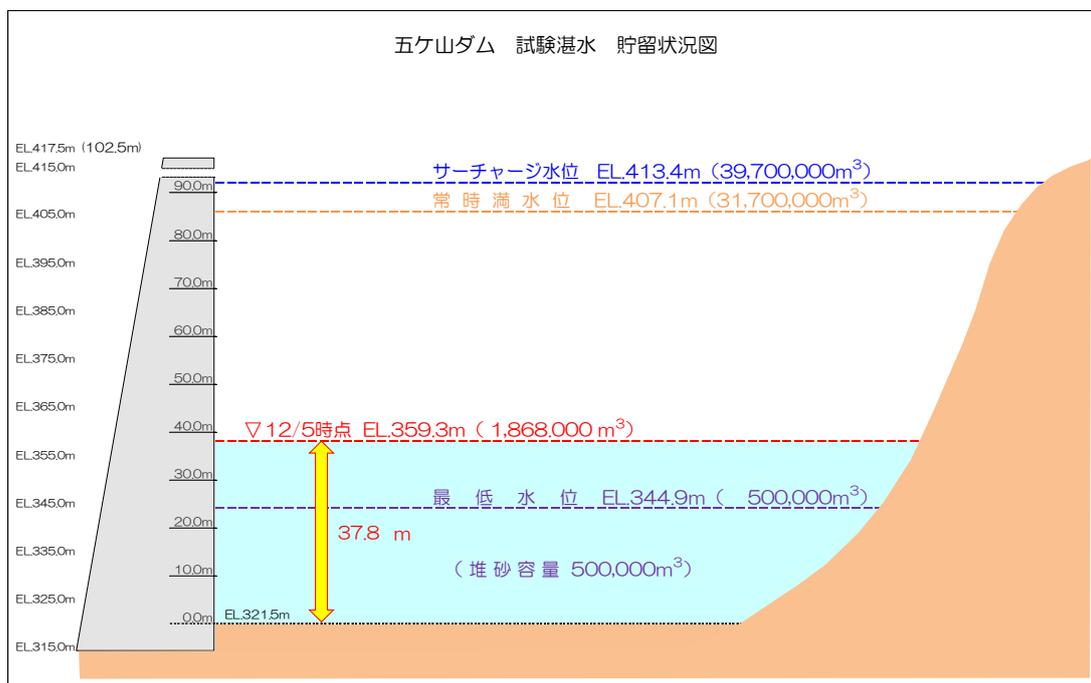
那珂川町に建設中の五ヶ山ダムは、平成 28 年 1 月にダム堤体コンクリートの打設が完了し、建設工事も終盤を迎えています。

本格的なダムの運用を始める前に、実際に水を貯めて貯水位を上昇及び下降させて、ダム本体や放流設備の機能確認、基礎地盤や貯水池周辺地山等の安全性を検証するための試験湛水が、本年 10 月 21 日から開始されました。

＜計画課 中溝＞

＜五ヶ山ダム試験湛水 貯留状況 平成 28 年 12 月 5 日（月）0:00 時点＞

- 貯水位 37.8m (EL.359.3m) ※ EL. (海拔)
- 貯水量 1,868,000 m³ (常時満水位 31,700,000 m³)
- 貯水率 5.9%



■ 水源地域との交流事業

実施レポート

●五ヶ山ダム秋風ウォーキング〔11/3(祝) 五ヶ山ダム(那珂川町大字五ヶ山)〕

那珂川町に建設中の五ヶ山ダムにおいて、福岡県五ヶ山ダム建設事務所の主催で開通間近のダム周回道路やダム堤体上を自由に歩く「五ヶ山ダム秋風ウォーキング」が開催され、約 2,500 人の参加者は、爽やかな秋風の中、自由なウォーキングやダム施設の見学などを楽しみました。

企業団では、広報パネルを展示するとともに、海淡水ペットボトル、企業団のパンフレットなどを配布し、海水淡水化センターや企業団の取り組みを PR しました。

＜総務課 田子森＞



企業団 PR ブース



企業団広報パネルを見る参加者



五ヶ山ダム(上流から下流を望む)

●発見！秋の吉野ヶ里～五ヶ山ダム水源地を訪ねて～ 【11/6（日） 佐賀県吉野ヶ里町】

水源地の大切さを理解し、水源地域の振興及び活性化を図ることを目的として、弥生の都吉野ヶ里交流事業実行委員会（佐賀県吉野ヶ里町、五ヶ山ダム水没対策協議会、福岡市水道局、企業団で構成）の主催により、那珂川町に建設中の五ヶ山ダムの見学や、佐賀県吉野ヶ里町の歴史・文化とふれあう交流事業を開催し、福岡市民 31 名が参加されました。

完成間近の五ヶ山ダムでは、管理事務所職員の説明に興味深く耳を傾け、パンフレットを見て質問する子ども達もいました。

吉野ヶ里町では、さざんか自生北限地の散策のあと、みかん農園で、みかんの収穫やその場での試食など思い思いにみかん狩りを楽しみました。

また、吉野ヶ里町の温泉施設「山茶花の湯」で、地元の食材を使った昼食を食べ、その後、地元の郷土史家 於保 忠^{さきもと ただし}さんから吉野ヶ里町の歴史や水の大切さについてのお話がありました。

参加者の皆さんは、水の大切さを学ぶとともに、自然豊かな吉野ヶ里町での一日を楽しみました。

<総務課 田子森>



五ヶ山ダムの見学



みかん園での収穫体験



吉野ヶ里町の歴史等の講和

●200 海里的森づくり・植樹 【11/12（土） 大分県日田市中津江村】

日田市中津江村において、200 海里的森づくり実行委員会（坂本 休^{さかもと やすむ} 実行委員長）の主催により、植樹活動が行われました。

この催しは、筑後川上流域の森づくりを通して、有明海の水質環境づくりに貢献し、200 海里につながる豊かな水資源を未来の子どもたちに引き継ぐことを目的として開催されています。

当日は、中津江村農林業支援センターや財団法人中津江村地球財団など地元関係者の方をはじめ、古賀市や久山町の住民の皆さん、大野城市、春日那珂川水道企業団、古賀市、宇美町、久山町、福岡都市圏広域行政事業組合、当企業団事務局の職員など、約 100 名が参加しました。

地元の方から植樹のしかたについて説明を受けた後、ヤマザクラ、カエデなど約 300 本を植樹し、それぞれの思いを記入した木札を吊るしました。

終了後は、バーベキューでの交流会を行い、参加者との親交を深めました。

参加者の皆さんは、植樹活動を通して水や森づくりの大切さを実感されたことと思います。

<総務課 原田>



植樹の様子



参加者全員で記念撮影

●第16回水をつなぐ流域交流 in^{しもとごうち}下戸河内〔11/13(日) 朝倉市江川〕

朝倉市江川地区において、福岡都市圏の住民の皆さんが、水源地域の住民の皆さんとの交流を通して、水の大切さや水を守る地域について理解を深めることを目的として、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会^{うちだ よしかず}(内田 義和 会長)の主催による交流会が開催されました。

当日は、地元の皆さんや福岡市堤校区の皆さん、独立行政法人水資源機構、小石原川ダム建設に携わるJV事業者、福岡県南広域水道企業団、朝倉市、福岡市、当企業団の職員など約130名が参加しました。

道路脇にモミジ等の苗木30本を植樹した後、この行事のために整備された特設会場でミニ運動会や餅つき、さつまいもの収穫体験などの交流が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

地元と都市圏の皆さんが交流を深めるとともに、都市圏の皆さんが水源地域のことを知る良い機会になったと思います。

<総務課 田子森>



交流会会場



ミニ運動会 (ムカデ競争)



さつまいもの収穫体験



福岡都市圏住民の参加者



植樹の様子

●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動 【11/21（月） 朝倉市佐田】

江川ダム及び寺内ダム周辺において、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の共催で、小石原川及び佐田川流域の河川愛護・水産資源保護を目的とした清掃活動が実施されました。

大野城市、春日那珂川水道企業団、宇美町、志免町、新宮町、福岡都市圏広域行政事業組合、当企業団事務局の職員が参加した寺内ダム周辺での「佐田川ノーポイ運動」では、参加者 70 名が 7 班に分かれ、ダム湖周辺の空き缶、ペットボトル、びんのほか不法投棄された古タイヤなど計 730 kg のゴミを回収し、リサイクルや適正に処分するための分別作業を行いました。

大切な水資源や美しい環境を守るとともに、人々のマナー意識の向上を願って、今後も河川美化運動に積極的に参加してまいります。

<総務課 田子森>



ゴミ回収の様子



回収されたゴミの分別作業

●あまぎ緑の応援団・枝打ち 【11/26（土） 朝倉市佐田】

朝倉市では、森林作業などを通して、水を育む森の大切さを広く市民に知ってもらう「あまぎ緑の応援団」が平成 11 年に結成され、様々な森林環境保全活動を行っています。

今回、朝倉市佐田において、応援団活動を支援する同委員会（委員長：森田 俊介朝倉市長）の主催により、枝打ち作業が行われました。

当日は、応援団団員をはじめ、水資源機構筑後川局や福岡市、大野城市、春日那珂川水道企業団、宇美町、企業団事務局の職員など計 69 名が参加しました。

手ノコを使った枝打ち作業のほか、小さな木や二股になった木の間伐も行ったため、思った以上に大変な作業でした。

作業が終了する頃には、暗かった林の中もずいぶん明るくなりました。

<総務課 田子森>



枝打ちの様子



枝打ち後



企業団及び構成団体の参加者

●市民参加の森づくり大会（植樹）〔11/27（日） 大分県日田市大山町〕

日田市大山町の西釣市有林において、森林の有する公益的機能を守り育てていこうとする機運を高めるとともに、上下流域住民の交流・親睦を深めることを目的として、日田市の主催による市民参加の森づくり大会が実施されました。

当日は、日田市、久留米市、福岡都市圏住民の皆さんをはじめ、日田市、久留米市、福岡市、大野城市、春日那珂川水道企業団、当企業団事務局の職員など、約 230 名が参加しました。

開会式では、水源地域を守る日田市への日頃の感謝の気持ちを込めて、^{はらだ けいすけ}原田 啓介 日田市長に^{いさま}諫山 ^{かずひと}和仁 企業長、^{なんり たかゆき}南里 隆幸 福岡市水道局理事、^{よしだ ただたか}吉田 忠隆 久留米市上下水道部長からそれぞれ苗木を贈呈いたしました。

参加者の皆さんは、雨の中、大山ダム直下の植樹会場にチャチンモドキ、アオダモ、ケヤキなど 12 種類、1,080 本の苗木を植樹し、それぞれの思いを記した記念プレートを吊るしました。

今回の植樹活動により、森林に対する理解や関心が高められ、また、上下流域住民の交流・親睦も深められたことと思います。

<総務課 田子森>



植樹の様子



植樹記念プレート



地元みどりの少年団との記念撮影

■構成団体・水源地域の主なイベント 【お出かけください】

1月の予定

●甘木バタバ市〔1/4（水）・1/5（木） 朝倉市甘木〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

^{あんちようじ}安長寺に疱瘡（天然痘）除けと子育て祈願の祭りとして、また物々交換の市として、奈良時代より現在に伝えられています。

バタバ市の2日間、境内で販売される「豆太鼓バタバ」は、もともとは疱瘡よけのおまじないですが、産室に置くと胎児の発育がよく、また、床の間に飾るとその家に幸運が訪れると言われていています。



期 日 平成 29 年 1 月 4 日（水）、5 日（木）
開 催 場 所 安長寺（朝倉市甘木 772）
問 い 合 わ せ 先 あさくら観光協会 TEL 0946-24-6758

●大善寺玉垂宮の鬼夜 [1/7 (土) 久留米市大善寺]

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました)

「大善寺玉垂宮の鬼夜」は、大晦日の夜から正月 7 日まで行われる「鬼会」の最終日に行われる行事で、1600 年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。



仁徳天皇 56 年 (368 年) 1 月 7 日、勅命により藤大臣が、当地を荒し人民を苦しめていた賊徒・肥前国水上の桜桃沈輪を、闇夜に松明を照らして探し出し、首を討ち取って焼却したのが始まりだと言われています。

1 月 7 日は、「鬼面尊神渡御・遠御」や「汐井汲み神事」、「シオイカキ」といった神事後、21:00 頃、二番鐘が打たれた後に、暗闇の中、奥神殿から鬼火 (大晦日の夜神官が燧石で取った御神火) が出て、一斉に大松明に点火されます。

その後、燃え盛る大松明の前で「鉾面神事」が行われます。この「鉾面神事」は 10 分足らずと時間は短いのですが、古式にのっとり、赤・青の天狗による相克の「魔払い神事」で、鬼夜の起源を表すとも言われています。

そして、いよいよ「大松明廻し」が始まります。長さ約 13m、重さ約 1.2 t の「日本一」といわれる大松明 6 本が、紅蓮の炎を上げて燃え上がり、それを数百人の締め込み姿の氏子若衆が、「カリマタ (先が二又になった檜の棒)」で支えて、本殿を廻る様子は圧巻です。その間、鬼は姿を隠したまま、シャグマの子どもたちに囲まれて鬼堂の周囲を 7 回半回ります。

この鬼の堂回りが終わると、一番松明が「惣門くぐり」を行います。これは、一番松明だけの特権で、燃え盛る大松明が狭い惣門をくぐり抜ける様子も見事です。

その後、鬼はシャグマの子どもや棒頭に護られて、密かに汐井場で禊をし、神殿に帰ります。鬼が神殿に戻ると、明りが灯されるとともに、厄鐘が、7・5・3 と打たれ、行事が終わります。

なお、大松明の火の粉を浴びると無病息災といわれ、毎年、家内安全、災難消除、開運招福を祈願する多くの方々が賑わいます。

※ シャグマ：人の世ともう一つの世界 (異界) との間を守る存在 (「筑後の年中行事 12 ヶ月 篠原正一著」とされ、特異な被り物を付けた鬼の警護役)

日 時 平成 29 年 1 月 7 日 (土) 13:00~23:30

※ 大松明点火は 21:30 頃~

開 催 場 所 大善寺玉垂宮 (久留米市大善寺町宮本 1463-1)

問い合わせ先 大善寺玉垂宮社務所 TEL 0942-27-1887

■ 知ってる！？ 筑後川のはなし

このコーナーでは、筑後川について、より知識を深め、親しんでいただくために、筑後川流域の観光、イベント、特産物、史跡などの情報を掲載しています。

今回は、朝倉市杷木の「久喜宮のキンメイチク」を紹介します。

キンメイチクとは竹の突然変異で、竹肌が黄金色を帯び、その状況が明るい金色に見えることから「金明竹」と呼ばれるようになったそうです。最も美しい竹と呼ばれることもあります。

例年5～6月頃のタケノコの出始めから3年目頃までのものが、最も美しいといわれています。

キンメイチクは孟宗竹・淡竹・真竹などで見られ、久喜宮のキンメイチクは、真竹に分類されます。

真竹のキンメイチクは全国でも珍しく、国指定になっているものは久喜宮の他、群馬県渋川市「敷島のキンメイチク」、石川県加賀市「篠原のキンメイチク」の3カ所しか例がなく、特に珍しいといわれています。

「久喜宮のキンメイチク」は、昭和2年に国の天然記念物として指定されたときには、かなり立派なものであったと報告されていますが、まわりの環境に押され次第に減少したため、平成24年に指定地が拡大され、よく管理されている朝倉市杷木寒水「文字社」の境内のものが追加指定されました。

近くに行かれた時に、訪ねられてはいかがでしょうか。

<総務部 山北>



久喜宮のキンメイチク



○交通・アクセス

- | | |
|--------|--|
| 公共交通機関 | 西鉄バス 40 番・41 番系統 JR 二日市発（朝倉街道、三連水車の里経由）杷木行き。 浜川下車 徒歩約 15 分 |
| 車の場合 | 大分自動車道 杷木 IC から約 7 分（約 1.5 km） |

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。企業団ホームページアドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/river/index.php>

福水企

検索

アドレスをクリックすると、**[水源情報]**が載っていますので、見てね！！



関係ダム	筑後河川系			
	江川ダム	豊田ダム	筑後大堰	
全体	利水容量	24,108.8	1,010.0	910.8
	現在利水量	23,792.8	1,010.0	910.8
	貯水率	99.1%	101.8%	101.8%
	増減水量	34.1	0.0	0.1
福岡地区 水道企業団	利水容量	1,829.8	1,966.0	281.9
	現在利水量	1,829.8	1,966.0	281.9
	貯水率	100.0%	101.8%	101.8%
	増減水量	1.1	0.0	0.1

編 集 後 記

笑い話ではありませんが、ここ一週間で、ズボンのフロントホックが外れ、また、別のズボンはお尻が裂けるという事態に・・・。

特に太ったという自覚はなかったのですが、体重計に乗ると過去最大級の体重に唖然とし、夏の間の走り込みが足りなかったのだなあと思いつつ、日頃の運動不足を嘆いています。

これから冬場にかけて、出不精になるとともに、ますます脂肪も蓄積することでしょう。

一念発起して、運動不足解消のためにジョギングでも再開するか！

それとも飲酒と間食を控えるか・・・。

<川>

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課 soumuka@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



※ 平成 28 年 12 月中旬に企業団ホームページのリニューアルを予定しています。

今後も、企業団ホームページを通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地や流域で行われるイベント情報等について、わかりやすく情報発信していきます。

牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。
見学を希望される場合は、7日前までに電話での予約をお願いします。

○ 牛頸浄水場（九州最大級の浄水場）

○見学日

・月曜日から金曜日（祝日，年末年始期間を除きます）

○TEL 092-596-5021 FAX 092-595-3065

<http://www.f-suiki.or.jp/ushikubi/procedure.php/>



牛頸浄水場急速ろ過池

○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

○見学日

・月曜日から金曜日

・毎月第3日曜日

・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日
（祝日，年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256

<http://www.f-suiki.or.jp/seawater/procedure/>



海水淡水化センター施設内部

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索

